



令和6年6月10日

「第5回 高齢者活躍推進ワーキングチーム」を開催

～「物流事業者における高齢者活躍推進」に向けた調査検討を終了しました～

(一社)日本物流団体連合会(真貝 康一会長)は、「第5回 高齢者活躍推進ワーキングチーム(座長:東京女子大学 二村 真理子教授)」を5月29日(水)に都内の全日通霞が関ビル会議室で開催し、オンラインを含む計19名が参加しました。

このワーキングチームは、物流業界において大きな課題となっている労働力不足において、その対応策の一つとして期待されている豊富な知識や経験を持つ高齢者の活躍について、そのために必要な対応策等を検討することを目的としています。

最終回となる今回は、令和5年7月より当該ワーキングチームにて実施してきた「物流事業者における高齢者活躍推進」に関する調査検討について、アンケートやヒアリングの調査等を踏まえて取りまとめた「物流事業者における高齢者活躍推進に向けた調査検討報告書(案)」の内容について事務局より説明が行われ、意見・質問を頂いた上承認されました。

その後、これまでのワーキングチームでの活動を振り返っての様々な意見・感想等を、各委員からそれぞれ頂きました。

最後に二村座長が『高齢者雇用安定法の改正より3年が経ち、物流事業者の現状が確認できたことは非常に意義のあることであった。労働力不足を反映したものであるかもしれないが、物流業界では今後ますます高齢者雇用は進むものと思われる。高齢者活用のための工夫については実施したヒアリングの中に様々なヒントが隠されている。これらの事例を参考とし、無理なく合理的な範囲でできることから始め、中長期的な今後の対応についても同時に考えて頂いた方がよいかと思う。物流業界は2024年問題をきっかけにいま社会から非常に注目を集めている。これを機に、高齢者のみならずすべての労働者が働きやすい環境を整えて行けば、持続可能な物流の構築が可能になるのではないかと思う。』と総括され、会合を終了しました。

なお今回の報告書については、今後発生した軽微な変更については事務局で整理したうえで、6月中に発行する予定です。

今後も物流連では、物流業界の発展のため、様々な取り組みを進めてまいります。

以上
事務局 中島



東京女子大学 二村真理子教授（座長）



全体風景